

## 射水市教育委員会 7 月定例会会議録

- I 開会日時 平成30年7月26日(木) 開会 午後2時00分  
閉会 午後3時40分
- II 会議場所 庁舎会議室401
- III 出席委員  
長井教育長、眞岸委員、宮原委員、織田委員、野上委員
- IV 会議事件説明員  
松長事務局長、丹羽事務局次長、園木副参事(生涯学習・スポーツ課長)、菅原学校教育課長、清水教育センター所長、原田新湊博物館長、杉本中央図書館長、竹内学校教育課長補佐、安元生涯学習・スポーツ課長補佐、京角学校教育課副主幹
- V 傍聴人数 なし
- VI 会議の要旨  
午後2時00分、教育長が開会を宣した。
- 1 会議録の承認  
承認された。
- 2 協議事項  
(1) 教育に関する事務点検・評価報告書について(平成29年度分)  
学校教育課長及び生涯学習・スポーツ課長が資料1に基づき説明した。
- 3 各課等の連絡事項及び報告事項  
(1) 学び応援塾の実施について  
学校教育課長が資料2に基づき説明した。  
(2) 北信越中学校総合競技大会出場選手について  
学校教育課副主幹が資料3に基づき説明した。  
(3) 射水市図書館協議会について  
中央図書館長が資料4に基づき説明した。  
(4) 主な事業の進捗状況について  
生涯学習・スポーツ課長、学校教育課長補佐、教育センター所長が進捗状況を説明した。  
(5) 教育委員会行事予定  
学校教育課長補佐が資料5に基づき説明した。
- 4 その他  
(1) 次回教育委員会の開催日時について  
8月 3日(金) 午前10時から 教育委員会臨時会 本庁舎会議室302  
8月23日(木) 午後1時30分から 教育委員8月定例会 本庁舎会議室306

## 5 議事

### (1) 教育に関する事務点検・評価報告書について

[委員] 評価結果について、A（順調に進んでいる）とB（概ね順調に進んでいる）の判断基準は、どのようになっているのか。

[事務局] 評価基準については、各項目について指標として数値目標を定めているものとそうでない項目もある。数値では表せない部分も多くあることから総合的に評価を行っている。この評価結果については、学識経験者の方からそれぞれの分野の視点で客観的な意見を伺って最終評価としている。

[委員] 家庭教育アドバイザーの用語解説について、家庭教育アドバイザーを養成する講座は、現在のところ市が実施しているが、過去には県が主催する養成講座もあったことから、市主催を削除してはどうか。

[事務局] 養成講座は、市以外にも県で養成講座を開催していることから、用語解説を修正する。

[教育長] 委員から指摘いただいたところを修正することとし、平成29年度分の教育に関する事務点検・評価報告書については、承認いただいたことでよろしいか。

[委員] 異議なしの声

### (2) 中学生学び応援塾の実施について

[委員] 学生講師の人数は、何人を見込んでいるのか。

[事務局] 1校当たり4から5人を大学側に、協力依頼している。

[委員] 昨年度から実施した小学生の学び応援塾の成果は、何か表れているか。

[事務局] 学期末に学習の確かめ等の状況や報告を受けている。昨年度3年生の子が今年4年生になった状況を一括して比較することは難しいが、維持向上という形の結果が見られる。

[委員] 良い結果が見られるのであれば、実施校を増やす考えはあるのか。

[事務局] 実施校を増やすことについては、予算を伴うことから、これから検討していきたい。

[教育長] 予算が確保できれば、実施校を増やすことができるのか。

[事務局] 予算もさることながら、指導員の確保が重要となる。しかしながら、指導員の確保は、非常に難しい現状にある。

[委員] 学生指導講師の時給は、いくらか。

[事務局] 学生には、時給1千円をお願いしている。（中学生学び応援塾は時給1千円、小学生学び応援塾はボランティア）

[委員] 家庭教師などの学生アルバイトの時給は、2千円から3千円が相場となっている。学生指導講師の時給が低いから学生が集まらないのではないか。

[事務局] 実情は十分に理解しているが、予算は限られているので時給アップすることは難しい。

[委員] 教員を目指している学生に、単位が取得できるなど大学と提携することはできないのか。

[教育長] 学びのアシストという形であれば可能である。

[事務局] 大学に話を持ちかけてはみるが、早期に大学内で調整することは難しいと考えている。

[委員] 放課後補充学習は、今後とも続けてほしい。また、未実施の小学校にも拡充

して行ってほしい。

[委員] 小学3年生のみを対象としているのか。

[事務局] 小学校では、3年生から学習のつまづきが顕著に表れてくることから、算数  
ぎらいを作らないように、「やれる」「できる」気持ちを持たせるよう支援して  
いる。

[委員] この事業に参加している児童は、自発的に参加しているのか。それとも担任  
から進められて参加しているのか。

[事務局] 両方のケースがあると思っている。

(3) 北信越中学校総合競技大会出場選手について

[委員] 出場選手の人数は、昨年と比べて減っているが主な理由は何か。

[事務局] 野球やバスケットボール女子など、団体競技での出場が減ったことから出場  
選手数が減ったものである。

午後3時40分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。